

22年度 重点項目評価シート

川崎市文化芸術振興計画の基本方針

1. 文化芸術振興による創造的で持続的なまちづくりの推進

2. 市民の主体的な文化芸術活動の尊重

3. 関係機関等との連携による文化芸術の振興と地域づくり

4. 文化芸術活動を通じた都市・地域間の交流の推進

22年度の市民・子ども局の組織目標 (文化施策に関する項)

4. 文化芸術・スポーツの振興による魅力あるまちづくりの推進

市民ミュージアムの重点目標	重点施策	実施目標(到達レベル)	内部評価(自己点検)		外部評価	
			事業実績	成果と課題	評定意見	評定
●文化芸術振興の拠点機能の構築(市民・子ども局への移管効果を具現化)	(1)拠点機能構築に向けての方針と計画を策定 (2)市内の文化芸術施設や「映像のまち」「音楽のまち」など関係機関との連携の強化とネットワークの構築 (3)映画大学開校に向けて相互協力の具体策を立案・協議	(1)第2次改革計画の中に含めて検討を進め策定 (2)各施設・機関と定期的な情報交換の場を設定し、連携事業を検討・実施 (3)映画大学の設置認可(10月予定)以降、大学側と協議を開始し年度内で成案				
●都市川崎と市民ミュージアムを全国に発信	(1)集客力や話題性のある事業の立案、実施 (2)きめ細かな広報戦略の策定とネットの活用による発信力の強化 (3)収蔵品の活用と全国発信 (4)魅力発信のための基盤整備として施設・設備改修への取組みを推進	(1)①市民ミュージアムの特徴、機能を活かした事業展開により、総利用者数や企画展・映画観覧者数の対前年プラス ②話題性や時機を得た事業の企画やシティセールスとの連携強化によるメディア露出頻度の拡大 ③「映像のまち・かわさき」をアピールする事業の実施 ④川崎発の国際的な近現代美術展開催の検討 (2)①集客に貢献する媒体展開の立案・実施 ②HPアクセス数の対前年プラス (3)館の企画展として横山裕一展や木村伊兵衛35周年記念展、館収蔵品の貸出しによる濱田庄司展の開催等 (4)本年度予定の空調設備の改修調査、映写設備の改修を進めるほか、第2次改革計画の策定で今後の市民ミュージアムの方向性を定める中で、市民ミュージアムの魅力向上の視点で常設展示場の改修、映像ホールの整備、空調設備の大規模改修の実現に取組む				
●市の美術文化の特色、及びその担い手の発信と支援	(1)市ゆかりの芸術家の発信 (2)かわさき市美術展の改善	(1)①「まど・みちお展」をはじめ、企画展・常設展・映画上映で市ゆかりの作家を紹介し、川崎の文化を全国に発信 ②市ゆかりの芸術家の作品・資料の収集・調査 (2)①市民文化室との連携により前年の改善点を深化、定着 ②市美展を発展させた新たな美術・芸術展を目指して、運営委員会で見直しを提案しスケジュール化				

市民ミュージアムの重点目標	重点施策	実施目標(到達レベル)	内部評価(自己点検)		外部評価	
			事業実績	成果と課題	評定意見	評定
●市の歴史文化の保存と活用、及びその継承と発信	(1)常設展における収蔵品の活用 (2)収蔵品の保存と充実 (3)出前展示や出前授業での収蔵品の活用	(1)マンスリー展示により広く収蔵品を公開 (2)①収蔵品の修復を進め、「絵図展」などで公開 ②川崎の近現代展示を見据え、産業資料を含めた近代資料の収集を積極的に推進 ③大師電気鉄道の開業時の車両模型を製作 (3)①鷺沼小(宮前区)・川中島小(川崎区)・柿生中(麻生区)で考古資料の展示を行い、あわせて授業も実施 ②出前展示を通して、文化財課との連携をさらに深める				
●地域活性化への貢献	(1)市民団体、教育機関ほか地域の各種団体(文化団体、NPO法人、郷土史会、企業など)との連携、協働を推進 (2)市民ミュージアムの特徴を活かした教育普及プログラムの充実による、参加型の教育普及事業の強化 (3)ボランティア組織の拡充と、主体的な活動を支援するための体制を整備 (4)等々力緑地内の施設及び事業・イベントとの連携強化	(1)これまでの連携実績がある諸団体に加え、新たに東京ガラス工芸協会との展覧会・普及事業の実施、川崎の産業関係団体との連携事業を検討 (2)「夏休み子どもミュージアム」や博物館部門の歴史講座・歴史探索ツアーを実施するほか、スクールプログラムの充実により学校利用、普及事業参加者の対前年プラス (3)①登録者の拡大と、ボランティアの自主的な活動のために新たに企画・運営グループを立ち上げ ②ボランティアによるママカフェの継続実施 (4)フロンターレ展の実施やアリーナで開催の環境技術展に協力				
●市民ミュージアム改革の推進	(1)第2次改革基本計画、及び今後の管理運営体制の検討 (2)市民ミュージアム評価制度の活用による業務の質の向上 (3)活動・運営状況の開示を推進 (4)生涯学習財団への委託業務を円滑に進めていくための体制を整備	(1)関係部局とのプロジェクトにおいて、改革検証と市民・子ども局への移管目的を踏まえて計画を検討、あわせて以後の管理運営体制を検討 (2)評価結果を企画立案や業務遂行に反映する仕組みの定着 (3)ホームページを中心に恒常的に開示 (4)業務遂行上の課題抽出と相互確認、解決のために財団本部との定例協議を実施				
●市民の支持、理解を得られる効果的・効率的な運営	(1)市民ミュージアムの収蔵品を有効に活用した展示・上映、アウトリーチや収蔵品の館外での展示・貸出しの実施により、市民還元と市民ミュージアムの効果的なアピールを推進 (2)来館者への人的な対応や館内外の案内表示・導線の改善、レストラン・ショップなどの付帯施設のサービス改善指導を恒常的に行い、顧客満足の向上を目指す (3)施設・設備の有効活用のために、貸館事業の体制を整備してその拡大を図るとともに、館内諸室の使用状況を改善	(1)①博物館部門の企画展「絵図展」・「昔のくらし・今のくらし」、美術館部門のアートギャラリーや映画上映などで活用・アピール ②企画展に連動した市民館での出張講座、ミュージアムでの出張展示、学校への出張授業等を実施 (2)①エントランスに案内要員を配置 ②館内案内表示をすみやかに変更する体制の整備 ③小杉駅表示看板の見直し ④委託先を含めた職員の接客研修や、ショップ・レストランの品揃え(メニュー)の見直し等を実施 ⑤アンケート集約方法の見直し (3)貸館の専任を置き業務を集約、引続きPRにつとめ使用団体の前年増を目指す				

22年度 展示・上映 等

	展示会名・会期・会場	内 容	目標	数値実績		実績コメント	成果と課題	評定意見	評定
			入場者数	入場者数	歳出(千円)				
映 像	映像ホール: 有料	土日祝日に映画を定期上映(1日2本が原則)。基本的に半月単位で俳優、監督、原作者、時代など多様な切り口で特集を組む。収蔵品だけでなく、配給会社からの借用も含めてプログラムを構成。	15100						
	ミニホール: 無料	「牛山純一のドキュメンタリー」「祭りのビデオ」を月1回定期上映。市民との協働で「みんなでビデオを見る会」を月1回定期で開催。							